

な く そ う

自転車盗・オートバイ盗

自転車盗・オートバイ盗の発生件数が全刑法犯認知件数に占める割合は高く、県民の方誰もが被害に遭いやすい、一番身近な犯罪と言えます。

自転車盗難防止の基本は、防犯性能に優れた

「シリンダー錠」と「ワイヤー錠・U字型錠など」のWロック!!

自転車の窃盗犯は、犯行時間が長引くことを嫌がります。だから、通常のカギのほかにもワイヤー錠・U字型錠をかける、ツーロックが盗難にはとても有効です。



自転車のJIS規格が改正され、馬てい錠はプレス錠からシリンダー錠に変更されました。

プレス錠とシリンダー錠の違い

●プレス錠は、解錠をする時にキーを差し込んで押すだけ、と簡単ですが、ドライバーなどの道具でも簡単に解錠される恐れがあります。



●シリンダー錠は、まずキーを差し込み、次に回して開ける錠前です。シリンダー内の複雑なタンブラーの組み合わせにより、ドライバーなどの道具でもこじ開けにくく、盗難に強い錠前です。



自転車盗難防止の基本3か条

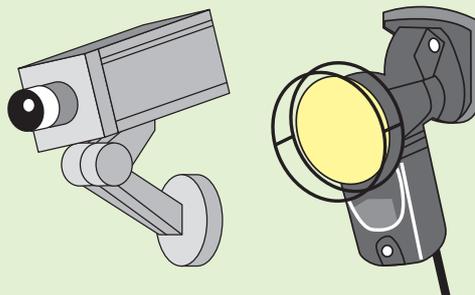
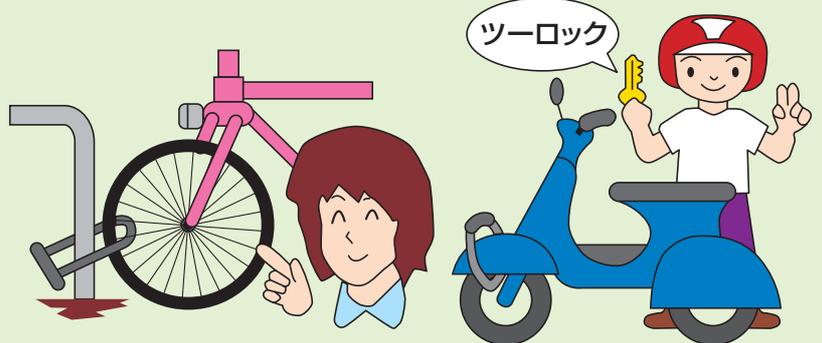
1. わずかな時間の駐輪も必ずWロック!
2. 駐輪場であっても、油断しないでしっかり2ロック!
3. 防犯登録ステッカーを必ず貼付!



●自宅の敷地内に置くときも必ず施錠しましょう。



●自転車やオートバイ本体の錠以外にもワイヤーロックなどを、タイヤ(ホイール)部分と固定物(ポールなど)に通して施錠しましょう。



●アパート・マンションの共同駐輪場には、防犯カメラやセンサー付きライトを設置する等、防犯対策を講じましょう。